ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.186

発　行　日　　平成31年３月４日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,531名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

平成最後の年を振り返り、次のステージを考える
～変化の年、前進の年～

公益社団法人　新潟県理学療法士会
会長　**佐　藤　成登志**

平成30年度も慌ただしく終えようとしています。会員の皆様方、お変わりなくお過ごしでしょうか。日頃から士会へのご理解とご協力を頂いておりますことを改めて感謝申し上げます。年度末を迎え、平成最後の年を振り返りながら、士会の次のステージのことを考えてみました。先日、本の中で「今年１年を振り返り、一言で表すと？」の言葉を目にしました。本士会に置き換え、頭に浮かんだのは、**「変化の年」「前進の年」**の言葉でした。

今年度は、会長就任時（27年度）に掲げた７項目のシステム構築を目指すために以下の５つを重点課題項目として進めてきました。

１．上越・中越・下越ブロック別活動の構築と実施
２．地域包括ケアシステムに向けたシステム作りの促進
３．会員のニーズに沿った士会事業の促進
４．災害対策システムの構築
５．管理者ネットワークの構築

特に、地域包括ケアシステム、ブロック別活動や管理者ネットワークに関することが、大きく変化・前進しました。

平成27年に結成された**「新潟県リハビリテーション専門職協議会」**を中心に、地域包括ケアシステムに関連する市町村の介護予防事業や地域ケア個別会議を継続的に行ってきました。その成果もあってか、今年度10月には３団体に、栄養士会、歯科衛生士会、薬剤師会を加えた６団体による**「新潟県地域包括ケア支援専門職協議会」**が結成され、12月より県からの業務委託が行われています。県高齢福祉保健課と連携しながら行っている地域ケア個別会議への助言者派遣は、29年度は３市町村でしたが、今年度は10市町村と急速に増えました。来年度は20市町村の対応が予定されています。地域住民を中心とした市町村、県、そして各専門職が連携を取りながら前進していることを感じています。さらに、2019年12月14日・15日には、**「第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会」**が予定されています。作業療法士会、言語聴覚士会、理学療法士会３団体による新潟県初の企画で、「連携から連動へ」といったテーマで開催致します。

ブロック別の４つの活動（生涯学習・地域包括ケアシステム・公益事業・災害対策）を行うために、**管理者ネットワークの構築**を進めてきました。県内350施設の約80％の施設管理者の状況把握ができ、上越ブロックでは５つの支部化を進め、管理者ネットワークを構築しました。上越ブロックでのネットワークをモデルに、中越・下越ブロックでも同様に展開するように進めています。ネットワークの構築によって、顔の見える関係作りができ、ブロック別での活動が加速的に促進すると期待しています。

平成最後の年にあたり、我々の団体を含めたリハビリテーションに関連する団体が舵を取りながら変化し、前進していると確信しています。今後さらに会員および社会のニーズに沿う士会づくりを目指していきたいと思っております。

目　　次

平成最後の年を振り返り、次のステージを考える …… 1
職場紹介…… 2
就業支援部便り…… 5
リレーエッセイ…… 6
学会・研修会参加記…… 7
平成30年度第４回拡大理事会議事録…… 8
平成30年度第５回拡大理事会議事録…… 10
平成30年度新人歓迎会及び懇親会開催報告…… 12
情報提供書(紹介状)についてのお願い …… 13
第27回新潟県理学療法士学会優秀演題決定！… 13
学術局生涯学習部だより…… 13
事務局ニュース…… 16
広報部ニュース…… 18
編集後記…… 18

職場紹介１

介護老人保健施設　マチュアハウス中条

当施設は、新潟慈生会が運営する単独型の老健施設です。当施設がある胎内市は、高齢化率が34％と県平均（31％）よりも高く、高齢夫婦世帯や高齢単身世帯は年々増加しています。さらに、在宅系介護サービス資源が不足している地域でもあるため、当施設ではリハビリテーション（リハビリ）目的で入所する方の他に、在宅限界を迎えた高齢者・認知症を呈した高齢者・生活困窮者なども随時、受け入れています。それでも、老健が掲げる理念と役割のもとに、リハビリを中心とした包括的ケアを提供し、在宅復帰・在宅支援を推進しており、H30年４月より、加算型老健として運営しています。

現在、リハビリ科には７名（PT４、OT２、ST１）のスタッフが在籍し、入所やデイケア、ショートステイのリハビリを兼任しています。当施設の最大の特徴は、「多職種の連携」です。リハビリは、短期的に結果がでる治療ではなく、比較的長期にわたり多くの職種が多くの時間を使って行う治療です。そのため、何か特別なことをひとつだけ実施しても効果が出るものではなく、基本的と思われることをどれだけ間引かずに、その全てを確実に行うかどうかがポイントであると、私たちは考えております。そして、老健施設のリハビリがよりうまくいくためには、職員の７割近くを占める介護スタッフとの連携がとても重要になります。従って、当施設ではリハビリスタッフが介護スタッフと一緒に利用者のケアに携わることに重点を置き、日々、密度の濃い生活リハビリを実践しています。

職場紹介２

立川綜合病院

当院は平成28年11月１日に長岡市の神田町から郊外の宮内地区旭岡に新築移転し丸２年を迎えるところです。481床の総合病院であり26の診療科、10病棟から成り立っています。長岡東バイパス沿いの田んぼの中に100,000㎡という広大な敷地面積を持つ、地上５階建ての建物です。屋上にはヘリポートが設置され、ドクターヘリの受け入れが可能となり、空を見上げることが多くなりました。

リハビリスタッフはPT10名、OT６名、ST２名の計18名であり、協力しながら明るく楽しく仕事をしております。対象疾患は総合病院のため多岐にわたりますが、急性期疾患を中心にリハビリテーションの第一歩として合併症の予防・早期離床を目的に早期より介入しております。また、中越地区ではいち早く心臓リハビリテーションに取り組んでおり、日々患者数が増えています。新築移転と同時にハイブリッド手術室が設置され、難易度の高い最先端の心疾患治療後のリハビリにも積極的に取り組んでいます。新しい病院のため建物はきれいで、デザイン性には優れていますが、建物が広いため廊下が長いのが難点であり、職員も患者さんも良いリハビリになっています。長岡地区の救急病院の１つとして患者さんやその家族が在宅や地域もしくは回復期病院などに安心して移行できるようスタッフ一同協力して頑張っております。お近くにお越しの際はぜひ新しい病院を見学にいらしてください。

職場紹介３

脳梗塞リハビリセンター新潟

脳梗塞リハビリセンターは、公的保険外（自費）リハビリという「第３の選択肢」の創造を目的とする医療保険や介護保険に頼らない完全自費のリハビリ施設です。脳梗塞リハビリセンター新潟は脳梗塞リハビリセンターを運営する「株式会社ワイズ」と新潟県内で在宅介護サービスを提供する「株式会社はあとふるあたご」が業務協業し運営する形で平成29年（2017）に開設されました。開設から今日まで、新潟市内に限らず長岡市や佐渡島など県内遠方や県外からもご利用頂いております。今年度からは「新潟医療福祉大学 理学療法学科」が全面的にタイアップし、新潟県内での公的保険外（自費）リハビリの定着に向けてスタッフ一同奮闘しております。

当センターは公的保険外（自費）リハビリという「第３の選択肢」の創造だけでなく、理学療法士の職域拡大に向けても積極的に取り組んでいます。新規事業として開始した「Body Maintenance Laboratory（ボディメンテンナンス ラボラトリー）」というコンディショニング事業では、肩こりや腰痛等に悩まされている方々のコンディショニングをはじめ、「新潟アルビレックスBBラビッツ」の公認コンディショニングサロンとしてプロ選手のケアを担当しています。さらに、一般市民を対象に健康寿命の延伸を目的とした「介護予防事業」も新潟日報メディアシップにて毎月行わせて頂いています。

この機会に、県士会会員の皆様には、当センターの存在と取り組みを知って頂くとともに、より多くの患者様、利用者様にご紹介頂ければと思っています。また、当センターでは一緒に新たな領域を開拓していく意欲のあるスタッフを募集しています。「自費リハビリ」「コンディショニング事業」「介護予防事業」などにご興味のある方のご連絡をお待ちしています。

就業支援部便り

最終回になる今回は、介護に関する制度について紹介します。介護に関する制度としては、『介護休業』と『介護休暇』の２つの制度があります。

Ⅰ介護休業

●休業の定義：労働者が要介護状態（負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障害により、２週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態）にある対象家族を介護するためにする休業

●対象労働者：

☆労働者（日々雇用を除く）

☆労使協定により対象外にできる労働者

・入社１年未満の労働者

・申出の日から93日以内に雇用期間が終了する労働者

・１週間の所定労働日数が２日以下の労働者

☆有期契約労働者は、申出時点において、次の要件を満たすことが必要

①入社１年以上

②介護休業開始予定日から起算して93日を経過する日から６か月経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでないこと

●対象となる家族の範囲：配偶者（事実婚を含む）、父母、子、配偶者の父母、祖父母、兄弟姉妹及び孫

※介護関係の「子」の範囲は、法律上の親子関係がある子（養子を含む）のみ

●期間・回数：対象家族１人につき、通算93日まで。対象家族１人につき、３回

Ⅱ　介護休暇

●制度の内容：要介護状態にある対象家族の介護その他の世話※を行う労働者は、１年に５日（対象家族が２人以上の場合は10日）まで、介護その他の世話を行うために、休暇の取得が可能。

１日又は半日（所定労働時間の２分の１）単位で取得可能

１日単位での取得のみとすることができる労働者

・１日の所定労働時間が４時間以下の労働者

・半日単位での取得が困難と認められる業務に従事する労働者（労使協定が必要）

※その他の世話とは、対象家族の通院等の付添い、対象家族が介護サービスの適用を受けるために必要な手続きの代行、その他の対象家族に必要な世話をいう

●対象労働者：

☆労働者（日々雇用を除く）

☆労使協定により対象外にできる労働者

・入社６か月未満の労働者

・１週間の所定労働日数が２日以下の労働者

２つの制度を紹介しましたが、詳細についてはインターネット等でキーワードで検索をしてください。また各施設によって異なることもあるため、各施設の事務に問い合わせて下さい。

就業支援部では３回に渡って、ライフイベントに関する制度を紹介しました。今回の介護に関する事は、現在の会員の年齢構成から察するところ、今後大きな問題になってくるものと思われます。

今後、就業支援部で取り上げてほしい内容がありましたら、新潟県理学療法士会ＨＰのお問い合わせより、ご連絡下さい。今後も皆様のお手伝いが出来るよう、就業支援部の活動を続けていきたいと考えております。

リレーエッセイ 1

「バスケットシューズ」

豊浦愛広苑　通所リハビリテーション　**小　林　千　尋**

私は学生時代にバスケットボールに熱中していました。今でも週に１～２回、社会人バスケに参加しています。私は、競技はもちろんですがバスケットシューズが大好きです。今ではシューズを履くためにバスケットをしているといっても過言ではありません。

某有名スポーツメーカーでは、シューズのカラーリングを自分で決めることのできるサービスを実施しています。価格は一般のシューズより少し割高になってしまいますが、自分の気に入った１足を作ることができます。世界に１足しかないシューズになるので愛着が湧き、大切にしようという気持ちになります。他の競技シューズやスニーカーでも、一部このサービスが対応しています。皆さんもぜひ一度、お気に入りの１足を作ってみてはいかがでしょうか。

次回は佐渡総合病院の山本恵生さんです。よろしくお願いします。

リレーエッセイ 2

「アルビレックス新潟」

総合リハビリテーションセンター　みどり病院　**山　本　陽　平**

私が初めてサッカーの試合を観に行ったのは２年前の秋頃でした。妻に誘われ新潟市にあるビッグスワンスタジアムでアルビレクッス新潟の試合を観戦しました。試合は惜しくも負けてしまいましたがゴールが入った時のスタジアム全体に響き渡る歓声は私を一瞬でサッカーの虜にしました。それからというもの、ホームで行われる試合はほぼ必ずスタジアムに訪れて応援席から声が嗄れるまで応援しています。また、試合だけでなくスタジアムにはグルメやイベントも多数あり、まるでお祭りのように楽しめることも魅力の一つです。

現在、アルビレクッス新潟はJ２リーグに所属しているため今年こそJ１に再昇格できるよう引き続きチーム・選手達を応援で鼓舞していこうと思っています。また、今年１月に長男が生まれたため今度は家族でアルビレックス新潟の応援に行けることを楽しみにしています。

次回は木戸病院の阿部郁美さんです。よろしくお願いします。

学会・研修会参加記

【第27回新潟県理学療法士学会準備委員としての活動報告】

済生会三条病院　**松　宮　健　二**

昨年11月17・18日の二日間にわたり、リサーチコアで第27回新潟県理学療法士学会が初めて県央地区で開催されました。私は準備委員として参加しました。昨年度の学会で委員の顔合わせを行い一年かけて準備してきました。テーマを決め、それに沿った講師の選定、プログラム構成、会場の運営方法、ポスターの掲示の依頼、託児所の設定、そして県学会初めての動画演題の運営等々。会議で話し合い、決まらないことについてはメーリングリストを使用して検討してきました。当日は演台数が多く事前登録も多かったため受付がスムーズにできるか、会場に入りきるか、駐車場は足りるか、時間通りに運営できるか色々心配はありました。しかし、大きな問題もなく参加者590名と大成功に終わりました。普段の業務では味わえない充実感、満足感がありました。今後も県士会事業に参加・協力していきたいと思います。

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025)223-3630
FAX (025)222-2750

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園2-2-7
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

信頼にお応えする
源川医科器械株式会社
取扱品目
医療器械器具・臨床検査器械
光学器械・輸入医科器械
理化学器械・医療用ガス配管

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。
㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL:(025)281-0303
FAX:(025)281-0339
田村義肢 検索

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL(025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで http://www.takayoshi.co.jp

平成30年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第４回拡大理事会議事録

日　時：平成30年12月22日（土）　13：00～18：12
場　所：新潟県理学療法士会事務所
出席者：佐藤（成）、深川、中山、五十嵐、郷、
高鳥、風間、堀川、小林、松林、田中、
立石、棚橋、上路、柳、高井
監事　佐藤（雅）、太田
ブロック長　山本、諏訪、松本
委員長　小野塚、
オブザーバー：障がい児・者支援委員会
石井委員
欠　席：相談役　小林、飯田、大野、大島、剱物

議　題

１．議案
①平成30年度12月までの各部事業報告
②その他
２．協議事項
①平成30年度各部局今後の予定について
②平成31年度（2019年度）事業計画（案）（骨子）について
③その他

会長報告

・平成27年からリハビリテーション専門職協議会ができた。地域包括ケアシステムでリハビリ３職種がまとまったことで県から高い評価を頂いた。６団体での地域ケア支援専門職協議会を今年度発足した。さらに来年度から20市町村での地域ケア個別会議が開催される予定である。

＜各部局平成30年12月までの活動報告と今年度の活動＞

（障がい児・者支援委員会）
・マップの作成
・アンケート：回収123施設、回収率24.8％、期限超えているが回収率を上げたい。
県士会での小児理学療法研修会の希望が57.8％であった。
・他県の状況は電話連絡等で資料を収集した。
・相談窓口は県のHPからとなっているが、現在１件もない状態。
・小児理学療法の実施指導への対応は、継続審議事項とした。

（生涯学習部）
・６団体の研修会はポイント申請可能
カードリーダーなくても名簿があればポイント申請可能
・新生涯学習プログラムのOJT：新プロが終わっていれば受け入れられる。　理事会承認

（学術誌部）
・【優秀演題推薦】
大会長賞：山田則央（独立行政法人　国立病院機構西新潟中央病院）
奨 励 賞：古西幸夫（総合リハビリテーションセンターみどり病院）
・理学療法新潟：現状ではSCIやSSCI(英文雑誌が多い)登録できないため、生涯学習ポイントの３-３該当の40点は困難であり、査読ありで10点のポイント申請可能（３-４に該当）

（就業支援部）
・県学会での管理者研修会　（株）インソースによる研修会は好評であった。
会員からのアンケートも概ね好評価
・会員へのアンケート
会費が高いと言われているが、学会に参加している意識の高い会員にアンケートを取ってみたかった。
会費が高いと結果が出た場合は何等かの対応をしなければならない。
メリットを出さなければばらない。
事業が多岐に渡っており、現状では会費は下げられないだろう。

（公益事業部）
・市民公開講座
11月18日（日）　燕三条地場産業振興センター
リサーチコア
入場者165名（87名）、一般市民37名（８名）

（渉外部）
・パーティー券購入の目安。
連盟に関しては当面全面的に協力
他の議員については参加する人の人数分　最大２枚までとする。　（理事会承認）

（ブロック事業部：下越）
・佐渡地区へのアンケート　回収率88.5％
佐渡総合病院　金子さん地区代表　佐渡総合病院でweb研修会を開催する方向
・来年の６月開催の総会についても佐渡会場をサテライト会場にする。
ポイント申請と会費の徴収　参加人数の確認が必要
Skypeなどを利用　（理事会承認）

（県学会準備委員会）
・第27回県学会　参加者590名
17,000円の黒字　収入過去最高
保育室　７名の利用　新潟の業者を依頼
＊OT士会の学会では、一般演題の中に県士会活動を演題として発表していた。
同様にできないか　発表10分程度にして会員の理解を深めディスカッションの場とする。
機器展示の部屋にスポーツ支援部と地域包括ケアシステム推進部のブースがあったが入りづらい感じがあり、人があまりいなかった。
・第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会
2019年12月14・15日　朱鷺メッセ
３年に１回を予定　次回は2022年
来賓依頼；知事、福祉保健部部長　国会議員；：小川先生（田中先生）石崎徹先生
OT,STは他に学会があり演題が大変とのこと。
１会場を２士会で使用することに
６団体のシンポジウム
会場費は使用する士会が支払う。
共通経費の振り分けは会員の人数割とする。
（理事会承認）
（地域活動推進部）
・フォーラム　12/８開催　　日報にも記事が掲載
・来年からは20市町村で地域包括ケア個別会議を開始
６団体ですべて対応
県の研修（春、秋２回）に参加した人
P,O,S　アドバイザー研修を受けて、実務経験のある人が一人いればOKとする。
他は新人でも可
独自でやっている市町村はそのまま　　柏崎市、長岡市など

2019年度事業計画（案）（骨子）

（会長）
・各部局の平成29.30年度のアクションプランの総括をして欲しい。
・４つの重点目標を最優先にして行う。
1.管理者ネットワークの構築
2.他団体および県・市町村との連携強化
3.遠隔地域におけるシステムの構築
4.理学療法士(会員)の働き方・処遇への取り組み
（総務部）
・総会　2019年６月16日（日）　資料作成の問題から理事会は４月13日（土）13時
・姓名変更をゆきわり草に掲載していたが、今後は掲載しないことにする。
・市町村から名簿が欲しいとの依頼があるが、個人情報の観点から渡さない。
（厚生部）
・2019年度は合同学会のため新人歓迎会は開催せず。
３士会合同の懇親会となるかもしれないため、予算を考えておく。
・ブロックでの懇親会を新人歓迎会も兼ねて行う。
（理事会承認）
（広報部）
・会員閲覧用の別のサーバーができないか。カレンダーが入れられないか。等ホームページの見直しを行う。　（理事会承認）
（生涯学習部）
・新生涯学習システム　2021年からスタート予定
OJTの開始
・新生涯学習システムの課題をまとめる。
（理事会承認）
（就業支援部）
・復職のための研修施設（リスト作成）→モデル病院ができないか
・県士会は紹介する程度しかできない。あとは個人の対応　（理事会承認）
・学会などで　子供と一緒に別室でモニター聴講できないか。
（公益事業部）
・合同学会の時の市民公開講座をどうするか。
３年に１回の合同学会の時はブロックで行う。
2019年度は上越ブロックで７月の介護予防キャンペーンを少しリニューアルしてミニ公開講座を行う。（健康増進、介護予防講座を検討。講師は大竹先生）
・今後は会員が講師で数年に１回は大きな公開講座を開催する。　（理事会承認）
（下越ブロック）
・佐渡の会員に対するWeb活用　総会時
（理事会承認）
（災害対策委員会）
・OT,STの災害対策担当と話会いが今後必要となってくる。
・クラスター（他団体とのリハビリ職としての共同体）として考えて行く。　（理事会承認）
（障がい児・者支援委員会）
・どこまで障がい児・者支援委員会で行うか。就業支援部の関わりも必要か。
・保険については協会の賠償保険および県士会の保険でカバーできる。

・新生涯学習システムのOJTに相当するのではないか。
・今後は県から予算についての情報収集を行う。
・第１回小児理学療法研修会を予定　会場：長岡療育園　（理事会承認）

（その他）
○臨床実習指導者講習会
新潟県は、２年間で20名の講師（ファシリテーター）を育成

次回理事会　平成31年１月26日（土）13：00～
新潟医療福祉大学

以上

平成30年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第５回拡大理事会議事録

日　時：平成31年１月26日（土）　13：00～17：55
場　所：新潟医療福祉大学　G棟１階
出席者：佐藤（成）、深川、中山、五十嵐、郷、高鳥、風間、堀川、小林、田中、立石、棚橋、飯田、大野、上路、柳、
監事　佐藤（雅）、太田
相談役　小林
ブロック長　山本、諏訪、松本
委員長　小野塚、剱物
欠　席：松林、大島、高井

議　題

１．議　案
①平成30年度12月、１月までの各部事業報告
②その他

２．協議事項
①平成30年度各部局今後の予定について
②2019年度事業計画（案）について
③2019年度予算（案）について
④その他

会長報告

・会長行動が報告　（理事会承認）
副会長報告
・各副会長行動が報告　（理事会承認）

＜各部局平成30年１月までの活動報告と今年度の活動＞

（総務部）
・総会の出席者数の推移について報告
出席者、委任状の総数は過去５年間変化ないが会員数割合が減っている。
平成26年度81％　平成30年度61％と段階的に減少
来年度佐渡地区のwebでの参加を企画（下越ブロック）
・総会委任状（電子媒体で可能かどうか）について
県からの回答はまだない。
明確な回答が得られない。

（学術誌部）
・サンメディアとの契約について
契約する方向で。契約金も一般的な金額とする。
（理事会承認）

（スポーツ支援活動支援部）
・水球競技大会のコンディションサポート（31年３月18日～21日）
・2018年度第２回成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会
３名参加：杉戸先生（新潟医療センター）
関根先生（新潟リハビリテーション病院）
田中先生（やすかわ整形外科）　自費参加

（地域包括ケアシステム推進部）
・地域ケア個別会議
現在、新発田、胎内、十日町、五泉、三条、魚沼で開催され、２月から村上、弥彦、阿賀野、小千谷が開催予定
初めは経験のある方に助言者をお願いしたい。参加は見学から
参加するためには研修会に出ていただく必要がある。
・訪問リハビリテーション研修会
P.O.Sが対象　会場は新潟ユニゾンプラザ
参加費2,000円

（保険部）
・監査報告　（労災関係）
１）退院時リハビリテーション指導についての診療録への要点記載　返還命令有
２）疾患別リハビリテーション料について、リハビリテーション開始時に患者等に対して行ったリハビリテーション実施計画の説明の要点を診療録に明確に記載すること。
３）リハビリテーション総合実施計画評価料については、リハビリテーション実施後に評価を行い、リハビリテーション総合実施計画を作成しその内容を患者に説明の上交付した場合に算定することに留意すること。

（渉外部）
・田中まさし応援カード　新潟県22.7％、目標数77％
（上、中、下越ブロック）
・管理者ネットワーク　350施設　中越、下越も小ブロックに分けて責任者を決定
４月以降ネットワークを使用し活動
（理事会承認）
（障がい児・者支援員会）
・アンケートをホームページへ掲載
＜平成30年度今後の活動＞
（会長）
・２月23日臨時士会長会議
（生涯学習部）
・助成研究　１件　近整形外科　佐々木先生
学術助成金　理学療法新潟の投稿と発表が必須
必ず助成金を使用したことを記載する。抄録にも記載すること。
今年度の助成金の承認を受けたら２年以内に発表することを明記する。　（理事会承認）
＜2019年度事業計画（案）＞
（会長）
・重点項目４つ
１．管理者ネットワークの構築（最重点目標）
２．他団体および県・市町村との連携強化
３．遠隔地域におけるシステムの構築
４．理学療法士（会員）の働き方・処遇への取り組み　（理事会承認）
（財務部）
・楽天カード未加入者に対し加入促進
（理事会承認）
（生涯学習部）
・９月、11月　臨床実習指導者講習会
中央研修に参加した人がファシリテーターとして行う。
今年度12名、来年度（４月～９月までに）８名
（第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会）
・キーワード　連携から連動へ
・朱鷺メッセ　３階４階貸切
・特別講演　１、新潟県福祉保健部　山崎副部長
２、新潟大学　池内教授　認知症
・セミナー　薬剤師、栄養士、歯科衛生士にケアマネージャ―の意見にもとづいたコメント
（スポーツ支援部）
・オリパラ事前合宿　長岡、柏崎に滞在　市町村に挨拶に行く
・障がい者スポーツの啓発　障がい者スポーツ協会と連携　（理事会承認）
（地域包括ケア推進部）
・地域包括ケア支援専門職協議会　今後６団体の30市町村の代表者を決める。
助言者として個別ケア会議に参加できる人を明記する。
市町村への派遣調整のみ
・個別に市町村からの依頼がある場合は地元の代表者（リハ専門職協議会の３職種の代表）が派遣できる方に依頼する。
（公益事業部）
・県学会では市民公開講座は行わない。
３年に１回の合同学会の時はブロックで行う。
2019年度は上越ブロックで７月14日開催
（理事会承認）
（上越ブロック）
・公益事業　市民公開講座　内容：肩こりと腰痛
大竹　朗先生
介護予防、健康増進キャンペーン同日開催
（理事会承認）
（中越ブロック）
・管理者研修を予定　協会から講師依頼
（理事会承認）
（下越ブロック）
・佐渡の会員に対するWeb活用　総会時総会だけでなく研修会も一緒に行う。　（理事会承認）
（表彰委員会）
・役員功労賞３名　高鳥先生、田中先生、中山先生
（理事会承認）
（地域活動推進委員会）
・地域包括ケア支援専門協議会　年２回開催
（災害対策委員会）
・ガイドライン　OT,ST士会と県災害リハビリテーション協議会との内容すり合わせ
（障がい児・者支援委員会）
・県士会ホームページで問い合わせを受ける。
・第１回小児理学療法研修会　2019年６月or７月
会場：長岡療育園
参加費は無料としたい←無料ではなく1,000円は徴収して欲しい。
名称を　新潟県障がい児・者支援委員会の主催として欲しい。
ポイントの申請は90分２コマで可能　名簿の提出が必要
・第７回小児理学療法学術大会　2020年度　中林先生学会長で開催

４月に第１回会議を開催（理事会承認）

＜2019年度予算（案）＞

・貯金をしていきたい。

・災害対策で有事の時は積立してある。

・ブロック事業と各部局の予算について

生涯学習部、地域包括ケア推進部、公益事業部、災害対策委員会は事業費

厚生部、渉外部は管理費

・表彰委員会　福利厚生費or雑費

・役員行動費は渉外部から支出

・会員名簿は印刷しない。

（理事会承認）

<その他>

・協会から依頼のあった糖尿病対策事業担当者については新潟リハビリテーション大学の木村和樹先生を推薦する方向で進める。　（理事会承認）

次回理事会　平成31年３月３日（日）10：00～

新潟県理学療法士会事務局

以上

平成30年度新人歓迎会及び懇親会　開催報告

厚生部長　**風　間　美　子**

今年度も第27回新潟県理学療法士学会と同日開催で新人歓迎会及び懇親会が開催されました。今年は燕三条グランドホテルを会場とし、111名という大変多くの会員に参加頂きました。

19時佐藤会長の挨拶の後、深川副会長の乾杯で懇親会がスタートしました。出席頂いた講師の備酒先生、日本理学療法士協会の田中理事にもご挨拶頂き、皆さん和やかに懇談されました。この会は新人から経験年数の多い先輩、また講師の方とも和気あいあいと懇談できる数少ない機会です。皆さんいろいろな方と意見交換、名刺交換を行っていたようです。また、連盟の役員の音頭で、田中先生の今後のご活躍を期待し、全員が一致団結して応援することを確認しました。

恒例の新人自己紹介は出席34名全員が元気に自己PRを述べました。皆さん多くの先輩の前での挨拶に緊張していたようですが、それぞれ自分の素直な気持ちを伝えてくれたようです。残念ながら一発芸は出ませんでしたが個性的な方もいたため、恩師の郷先生を登壇させるなど、全員で大変盛り上がることができました。

懇親会の終盤には小黒大会長から今学会の成功に向けて挨拶をしていただき、そして最後は中山副会長の一本締めで無事懇親会を終了することができました。

今回は初の県央開催ということもあり、当初参加者数が伸びず開催が大変危ぶまれましたが、このように多くの方に参加頂き成功裏に終わることができました。これもひとえに小黒大会長、目崎準備委員長をはじめ準備委員の方々、理事、学術部員の方のおかげと感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

●情報提供書(紹介状)についてのお願い●

保険部長　大島　治

日頃より県士会活動にご協力ありがとうございます。会員の方より情報提供書(紹介状)における起算日等について、紹介状を書く時に記載の協力をお願いできないかと申し出がありました。以下の3点についてです。

1.疾患別リハビリの名称　2.同基準日(起算日)　3.早期加算基準日(起算日)

記載がない場合は医事課または病診連携室から問い合わせをしますが、作業に時間がかかり後日診療報酬の変更、電子カルテ等に修正をする必要が出てきます。また病院によっては「受傷日」と「診断日」のどちらを採用しているかで1日程度のずれが生じる場合があります。是非ご協力をお願いします。

●第27回新潟県理学療法士学会優秀演題決定！●

学術誌部　立石　学

第27回新潟県理学療法士学会では、過去最多となる49演題の口述発表をしていただきました。本当にありがとうございました。どの発表も素晴らしく優秀演題の選考は大変苦慮しました。その中から、座長の御意見、スライドの見易さ、発展性を考え、大会長および準備委員が、大会長賞と奨励賞を各1名選出いたしました。

なお、賞状と記念品の贈呈は、第28回新潟県理学療法士学会にて行います。

【大会長賞】「座位保持困難となったALS症例に対する排泄姿勢保持方法の工夫」

国立病院機構　西新潟中央病院　山田　規央

【奨 励 賞】「弾性バンド付体幹装具の継続使用による歩行能力変化の検証」
～シングルケースデザイン～

総合リハビリテーションセンター　みどり病院　古西幸夫

学術局生涯学習部だより

学術局担当　**髙　鳥　　真**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

2019年も３ヶ月が経過しようとしています。今年は暖冬小雪で積雪も少なく比較的過ごしやすいですが、インフルエンザが猛威を奮っているようです。皆様どうぞお気をつけてお過ごしください。

さて、平成もいよいよわずかとなり新たな時代のはじまりとなります。新元号，消費税引き上げと変化の大きい年度となりそうですが、そんな中、下記のごとく第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会を開催することが決まりました。この大会は、県作業療法士会と県言語聴覚士会との合同学会です。開催に向けて準備委員一同鋭意準備を進めているところです。どうぞお楽しみに！

■会　　期：2019年12月14日（土）・15日（日）
■会　　場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
■学会テーマ：「連携」から「連動」へ
■大　会　長：佐藤成登志　（新潟県理学療法士会会長）
■準備委員長：髙鳥　真（新潟県理学療法士会）
■準 備 委 員：中山裕子（新潟県理学療法士会）　児玉信夫（新潟県作業療法士会）
門脇　高（新潟県作業療法士会）　堂井真理（新潟県言語聴覚士会）
遠藤直人（新潟県言語聴覚士会）　小林　航（新潟県言語聴覚士会）
■主なプログラム：特別講演，シンポジウム，セミナー，一般演題発表，新人研修，機器展示など

過日よりご案内させていただいています日本理学療法士協会の新生涯学習システムは、**2021年４月**から実施になります。

※新制度開始時点（2021年４月）で新人教育プログラム未修了者は、現新プロの履修済テーマは全て失効扱いとなります。すなわち、未修了者は新制度のもと一から再履修となります。

※認定理学療法士を目指されている方は、早めの取得をおすすめします。

今後、協会から詳しい制度の概要など説明があります。協会、県士会からの郵送物を十分ご確認いただき、各自マイページで現在の生涯学習の履修状況を把握して下さい。

県士会主催研修会今後の予定

	研修会	テーマ/講　師	日　程	会　場
４月	第35回 技術研修会	「脳卒中片麻痺患者に対する歩行トレーニングの実践」中谷知生 先生（宝塚リハビリテーション病院）	4月20・21日 二日間開催	桑名病院
５月	第105回研修会	職場マネジメント 岩田健太郎 先生（神戸市医療センター中央市民病院）	5月19日	新潟市内
６月	第106回研修会 総会同時開催	予防理学療法 大渕修一 先生（東京都老人総合研究所）	6月16日	看護リハビリ新潟 保健医療専門学校
７月	新人研修会 下越ブロック	新プロＡ１～５・協会指定管理者研修（初級） 講師：理事　他	調整中	新潟医療福祉大学
	新人研修会 上中越ブロック	新プロＡ１～５・協会指定管理者研修（初級） 講師：理事　他	調整中	晴陵リハビリテーション学院
	理学療法士講習会応用編①	理学療法における筋骨格系の超音波画像評価 中村雅俊 先生・中村絵美 先生（新潟医療福祉大学）	7月27・28日 二日間開催	新潟医療福祉大学
８月	スポーツ支援部	調整中	調整中	調整中
９月	臨床実習指導者講習会	臨床実習指導者講習 講師：理事　他	調整中 二日間開催	調整中
	理学療法士講習会基本編①	「股関節疾患に対する動作解析入門－表面筋電図・加速度計を用いた評価－」 加藤浩 先生（九州看護福祉大学）	9月14・15日 二日間開催	看護リハビリ新潟 保健医療専門学校
10月	理学療法士講習会基本編②	「介護予防としてのロコモ対策，フレイル対策の実際　～地域包括ケア活動マニュアルの活用～」 小林量作 先生（新潟医療福祉大学）／ 高野義隆 先生（新潟リハビリテーション病院）	10月20日	新潟市内予定
11月	理学療法士講習会応用編②	「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」 佐藤成登志 先生・神田賢 先生（新潟医療福祉大学）	11月予定 二日間開催	新潟医療福祉大学
12月	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会	テーマ：「連携」から「連動」へ 大会長：佐藤成登志	12月14･15日 二日間開催	朱鷺メッセ
2020年 1月	第107回研修会	調整中	調整中	調整中
２月	理学療法士講習会応用編③	循環器理学療法～心電図の診方～ 椿　淳裕　先生（新潟医療福祉大学）	2月1・2日 二日間開催	新潟市内予定
	臨床実習指導者講習会	臨床実習指導者講習 講師：理事　他	調整中 二日間開催	看護リハビリ新潟 保健医療専門学校

	研修会	テーマ/講　師	日　程	会　場
3月	理学療法士講習会応用編④	「徒手的理学療法－骨盤帯・下肢の評価治療とクリニカルリーズニング－」 藤縄　理 先生（福井医療大学）/荒木　茂 先生（石川県立いしかわ特別支援学校自立活動部）	3月7・8日 二日間開催	新潟労災病院

詳細につきましては、県士会HPをご確認ください。

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

○研修会DVDの貸出しについて

木戸病院　　江川　真司　　E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○生涯学習（研修会･ポイント）関連のお問い合わせ

桑名病院　　田中　　健　　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟リハビリテーション病院　　立石　　学　　E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ

晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　　真　　E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

２　他士会関係

①ニュース（他県士会）

北 海 道　No.215
和歌山県　No.85
京 都 府　No.279
神奈川県　No.278
大 阪 府　第270号 第271号
大 分 県　No.117
秋 田 県　第185号 第186号
愛 知 県　No.191
滋 賀 県　No.211
兵 庫 県　No.177 178
東 京 都　No.208
広 島 県　No.256
群 馬 県　No.136
茨 城 県　No.162
静 岡 県　No.171
長 野 県　No.66
宮 崎 県　第14号
富 山 県　第151号

②学術誌

岐阜県理学療法士会学術誌　第23号
第29回岐阜県理学療法学会誌
第28回山口県理学療法士学会学会誌
理学療法学VOL.45,No.6　2018

③その他

陽光　第22（公社)新潟県健康づくり財団
next STage　第70号(一社)新潟県言語聴覚士会
兵庫県理学療法士会創立50週年記念誌
NoLimit vo l .76 s (公財)日本障がい者スポーツ協会
JPTANEWS No.316
QOLサポーター新潟No.48(新潟医療福祉大学)
医歯薬出版2019教科書・参考書目録

3　異動･休会･復会･退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL：03-6804-1421へお問合せ下さい。

＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページよりお願い致します。

［問い合わせ］

〒950-0912　新潟市中央区南笹口１丁目１番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の９：00 ～ 16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

広報部ニュース

メールマガジン（メルマガ）への登録をお願いします。

当会では、会員への迅速な情報発信と、ペーパレス化の実現に向けて、情報をメルマガに移行していきます。

ホームページ右下の「メルマガ登録」をクリックしていただき、氏名・会員番号・メールアドレスを入力していただくだけで、とても簡単できます。メルマガは会員に限定した情報を発信するため、入力の際はお間違えのないようにお願いいたします。

（※会員であることが認証できない場合は、メルマガの配信を停止いたします。）
ご協力をお願いします。
ホームページ：http://nipta.or.jp

編集後記

「平成30年度が慌ただしく終えようとしています。」と、この編集後記の冒頭に記載したところ、ふと気づきました。佐藤会長の巻頭言冒頭も同じ言葉でした。年度末は一年間の総括と次年度の取り組み開始と、本当に「慌ただしい」という言葉が身に染みる時期だと思います。「平成」の年号が最後。これもよく聞く言葉だと思いますが、平成31（2019）年度もみなさまにとって、発展のある一年になることを願うばかりです。　（Y）

ゆきわり草　No.186
編集責任者　松　林　義　人
問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp